

看護部理念 あたたかい心のこもった看護、安全で信頼される看護を提供します。

## 「家に帰りたい」を支えるために

5B 病棟 看護師長補佐

みやざき かな  
宮崎 香奈

富山ろうさい病院看護部は、超高齢化が全国よりも進む魚津市において、在宅療養を推進するプロジェクトを立ち上げ、私はそのサブリーダーを担っています。「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたい」そうした本人・家族の思いに寄り添い、実現に向けて様々なサポートを行うのが『在宅療養』です。

病気があり、介護が必要な家族を家で看することは、多くの不安や心の葛藤があることと思います。また、家に帰りたいが家族に負担や迷惑をかけたくないと考える方もおられます。しかし、家に帰ることで大切な人と共に過ごし、大切な物を身近に感じ、大切な思い出とのつながりを実感する時間となります。不安や悩みを私たちに聴かせてください。問題の整理ができたり、解決策を見出すお手伝いができると思います。

とはいえ、私たち病院の看護師は在宅や施設の実態をあまりにも知らないというのが現状でした。患者本人と御家族の思いに寄り添うために、まずは、「在宅」「施設」を知ることから始めたいと思います。そこで、各施設を訪問し、どのような特徴があるのかをまとめた冊子を作成し、施設パンフレットだけではイメージができない部分も正しく情報提供できるよう準備を進めています。また、ケアマネジャーとの合同研修会に参加し、一人一人の生活を支えるためにできることを共に考えることで顔の見える関係性を目指しています。家の造りやご家族の介護力をお聞きし、自宅での生活が困難な場合は近隣の病院や介護施設への退院も一緒に考えます。

めざすのは退院だけではなく、少しでも患者本人と御家族の望む暮らしにつなぐこと、これからを生き、支えるためにできることを一緒に考えていきたいと思っています。

